

# 「May 12, Celebration of Women in Mathematics」開催報告

男女共同参画社会推進委員長  
大山口 菜都美 (秀明大学)

本稿では、今年5月15日(土)に日本数学会の主催、東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構(以下、Kavli IPMU)の共催にて行われたカンファレンス「May 12, Celebration of Women in Mathematics」についてご報告いたします。

## 1. May 12 Initiative とは

1977年5月12日にイラン・テヘランで生まれた Maryam Mirzakhani は、2014年に韓国・ソウルで行われた ICM (International Congress of Mathematicians, 国際数学者会議) において、女性としてもイラン人としても初めてフィールズ賞を受賞しました。しかし、Mirzakhani は、その僅か3年後に40歳の若さで夭折します。イラン数学会の Women's Committee は、2018年7月31日にブラジル・リオデジャネイロで行われた (WM)<sup>2</sup> (World Meeting for Women in Mathematics) において、彼女の誕生日である5月12日を「女性数学者を祝福する日」とする提案を行いました。そこで、圧倒的多数の賛成により承認されたことが「May 12 Initiative」(以下、May 12) の始まりです。<sup>1</sup> この(WM)<sup>2</sup> は、ICM を主催する IMU (International Mathematical Union, 国際数学連合) の委員会の一つである CWM (Committee for Women in Mathematics) が、ICM のサテライトイベントとして開催している女性数学者のための国際会議です。2018年の(WM)<sup>2</sup> では、CWM により Mirzakhani の追悼写真展「Remember Maryam Mirzakhani」<sup>2</sup> が企画され、18枚のポスターが展示されました。翌年、2ヶ月前である3月12日には May 12 のウェブサイト<sup>3</sup> が立ち上がり、2019年は30ヶ国以上で100を超える May 12 の関連イベントが開催されました。さらに、2020年には Mirzakhani のドキュメンタリー映画「Secrets of the Surface」<sup>4</sup> の上映会を含めた152件のイベントが紹介されており、May 12 は世界中に広がっています。

---

<sup>1</sup> 「May 12 Initiative」が承認された2018年の(WM)<sup>2</sup>の記事。

<http://2018.worldwomeninmaths.org/maryam-mirzakhani.html> アメリカ数学会の記事でも詳細が紹介されています。<https://www.ams.org/journals/notices/201911/rnoti-p1879.pdf>

<sup>2</sup> 2018年の(WM)<sup>2</sup>にて開催された追悼写真展の様子。

<https://www.mathunion.org/cwm/slider-item/14404>

<sup>3</sup> May 12 のウェブサイト。<https://may12.womeninmaths.org>

<sup>4</sup> ZALA films による映画「Secrets of the Surface - The Mathematical Vision of Maryam Mirzakhani」のウェブサイト。<http://www.zalafilms.com/secrets/synopsis.html>

## 2. 当日のプログラムについて

日本数学会が主催する当カンファレンスは、もともと昨年5月に、東京大学数理科学研究科にて対面で開催される予定でした。コロナ禍における1年の延期を経て、今回無事に開催できたことを大変嬉しく存じます。Zoomの事前登録には、352名もの方に参加登録をいただきました。登壇者・参加者の皆さまと対面でお会いできなかったことは残念でしたが、オンラインだからこそ参加いただけた方もいらっしゃるのではないかと思います。

全体で5時間20分に亘るプログラムは、数学の講演が4件と「男女共同参画社会へ向けて」と題したパネルディスカッション、そして、映画「Secrets of the Surface」の上映と、盛りだくさんの内容でした。全てのプログラムを通して、男女共同参画社会推進委員会担当理事（当時）の清水扇丈先生（京都大学）が司会を務められました。

まず、理事長（当時）の寺杣友秀先生（法政大学）から開会のご挨拶をいただいた後、平田典子先生（日本大学）、中島啓先生（東京大学）、小谷元子先生（東北大学／理化学研究所）、高津飛鳥先生（東京都立大学）からご講演いただきました。どのご講演も大変興味深く、貴重なお話を伺えたことに感謝申し上げます。ご講演のタイトルと、座長を務めてくださった先生方のお名前を以下にご紹介いたします。

### [Lecture 1] How do we know the irrationality?

講演者：平田典子先生（日本大学理工学部）

座長：石井志保子先生（東京大学）

### [Lecture 2] 幾何解析における Uhlenbeck の研究について<sup>5</sup>

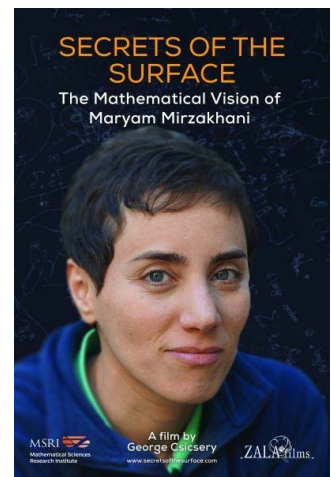
講演者：中島啓先生（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構）

座長：小野薫先生（京都大学）

### [Lecture 3] 離散幾何解析とその材料科学への応用<sup>6</sup>

講演者：小谷元子先生（東北大学／理化学研究所）

座長：楯辰哉先生（東北大学）



credit: ZALA films

---

<sup>5</sup> 来年、ロシア・サンクトペテルブルクにて開催される ICM において、1922 年生まれ的女性数学者 Olga Aleksandrovna Ladyzhenskaya の生誕 100 年にちなみ「Ladyzhenskaya Medal」が設立される旨をご紹介します。 <https://icm2022.org/ladyzhenskaya-medal>

<sup>6</sup> 6 月の CWM ambassadors の会議にて、アジア-オセアニアにおける女性数学者同士のネットワーク構築についてご検討される旨のご案内がありました。

## [Lecture 4] 形を聴く<sup>7</sup>

講演者：高津飛鳥先生（東京都立大学大学院理学研究科）

座長：山田澄生先生（学習院大学）

次に、パネルディスカッション「男女共同参画社会へ向けて」においては、石井志保子先生（東京大学）、伊藤由佳理先生（東京大学）、柏原賢二先生（東京大学）、杉山由恵先生（大阪大学）、田口雄一郎先生（東京工業大学）、山田澄生先生（学習院大学）にパネリストをお引き受けいただき、清水扇丈先生がコーディネータを務められました。前半の30分で、パネリストの先生からそれぞれ男女共同参画に関するお話をしていただき、後半の30分で参加者の皆さまを含めたディスカッションを行いました。

前半の講演において、石井志保子先生からは、「黄金期をゲットせよ」というタイトルにて、男性・女性に拘らず数学者の黄金期は30代までとは限らない、**Lifelong Performance**も大切にすべきとのお話を伺い、勇気をいただきました。伊藤由佳理先生は、女子学生の孤立を防ぎ、情報交換をしたり緊張を和らげる居場所を提供する目的で、名古屋大学や Kavli IPMU にて続けていらっしゃる、女性教員と女子学生のレディースランチについてご紹介くださいました。私自身も、伊藤由佳理先生が開催されている **Women's lunch** にオンラインで参加させていただいたことがあり、数学だけでなく他分野の女性研究者の方とも交流を深められ、とても楽しい時間となりました。また、長年にわたり男女共同参画社会推進委員として活動されてきた柏原賢二先生は、委員会の主な活動内容である「男女共同参画学協会連絡会<sup>8</sup>への協力とシンポジウムへの参加、女子中高生夏の学校への参加と運営協力、学会時の保育室の運営と女性だれでも懇談会の開催」について、それぞれご説明くださいました。そして、杉山由恵先生からは、女子大である津田塾大学における「自立した女性：**all-round women**」の育成という全人教育について、ご自身の経験を含めてお話をしていただきました。また、九州大学における女子学生や女性教員同士の食事会についてもご紹介いただきました。田口雄一郎先生は、東京工業大学でダイバーシティ推進室の傘下にある男女共同参画部門の部門委員を務められたご経験から、東京工業大学で行われている「女性研究者の裾野拡大支援」と「ワークライフバランス支援」についてお話してくださいました。さらに、佐々田慎

---

<sup>7</sup> ご講演の中で、「大学院時代にとても愉快地に過ごせたのは、指導教員である山田先生が私を女性として扱い、配慮してくれたからではなく、高津飛鳥という個人として扱ってくれたからです」とお話しされていたことが、とても印象的でした。

<sup>8</sup> 男女共同参画学協会連絡会は「学協会間で連携協力を行いながら、科学技術の分野において、女性と男性がともに個性と能力を発揮できる環境づくりとネットワーク作りを行い、社会に貢献すること」を目的として、日本数学会を含む12学協会により2002年10月7日に設立されました。平田典子先生は、第12期に日本数学会が幹事学会の際に委員長を務め、現在も「提言・要望書WG」の委員長としてご尽力されています。 <https://djrenrakukai.org>

子先生（東京大学）と坂内健一先生（慶應義塾大学）が作成された資料<sup>9</sup>についてもご紹介いただきました。最後に、生前の Mirzakhani と面識があった山田澄生先生からは、Mirzakhani と話した際の印象や、イタリアでは学部の段階から数学専攻に女性の方が多というお話を、ご自身がアメリカで過ごされた中で感じたこととして、お話していただきました。「数学は政治や戦争を超えて世界の平和の象徴になりうる」というお言葉も印象的でした。

後半は「女子中高生・大学生・大学院生・数学者の育成と支援」というテーマを設定し、参加者の方にご意見をいただきながらディスカッションを行いました。その際、Zoom の新機能である「没入型ビュー」を利用したことで、より対面でのパネルディスカッションに近いかたちで行うことができました。参加者の方からは、数学分野における大学院生や博士号取得者の人数、男女その他の割合など、統計データをまとめて日本数学会のホームページにて公開するといったのではないかというご意見があがりました。委員会の活動内容の一つとして、内規にて「数学の研究・教育における男女共同参画社会の推進に関する事項の調査」と定められており、まさに3月の委員会にて、数学界におけるデータを収集し、公開していくことの重要性について話し合ったところでしたので、現在、委員会にてデータ収集に向けた準備を進めております。今後とも、皆さまのお力添えをいただけたら幸いです。



最後のプログラムは、Mirzakhani の一生と数学を追ったドキュメンタリー映画「Secrets of the Surface」の日本語字幕版の上映です。英語音声のため、「もっと日本の高校生や大学生にも気軽に観てもらいたい」との思いから、伊藤由佳理先生をはじめ

---

<sup>9</sup> 「日本の数学界における男女共同参画の現状と提案」は、通称「佐々田・坂内レポート」と呼ばれています。 [http://www.math.keio.ac.jp/~bannai/Report\\_MathGender.pdf](http://www.math.keio.ac.jp/~bannai/Report_MathGender.pdf)

とする Kavli IPMU の皆さまのお力によって、日本語字幕版が作られたと伺いました。日本語では「曲面の秘密 – マリアムの魔法の杖」という、素敵なタイトルがついています。

数学的アイデアが多用された建物やモスク、記念碑の映像と美しい音楽に合わせて『論文を読む時や同僚に新しい概念について話す時は、とつてもワクワクする。音楽や絵画と同様、芸術作品に出会った気分になる。』という Mirzakhani の言葉が続き、冒頭から一気に惹き込まれました。クラスメイトや数学オリンピックの仲間、共同研究者や家族の言葉からは、Mirzakhani の素晴らしい人柄と能力に対する尊敬が溢れ、彼女のたどった一生を垣間見ることができます。モジュライ空間を用いた研究についても、複数の数学者による詳しい説明にアニメーションも加わり、大変わかりやすく解説されています。私は、英語音声のみで一度、そして日本語字幕版を二度観ましたが、毎回感動して心を掴まれる、とても素敵な映画です。日本語字幕版も有償にて公開される予定と伺いましたので、まだご覧になっていらっしゃらない方には、是非お勧めいたします。

映画の上映後、まだ余韻が残る中、男女共同参画社会推進委員長として閉会のご挨拶をさせていただき、全てのプログラムが無事に終了いたしました。

### 3. 今後の May 12 について

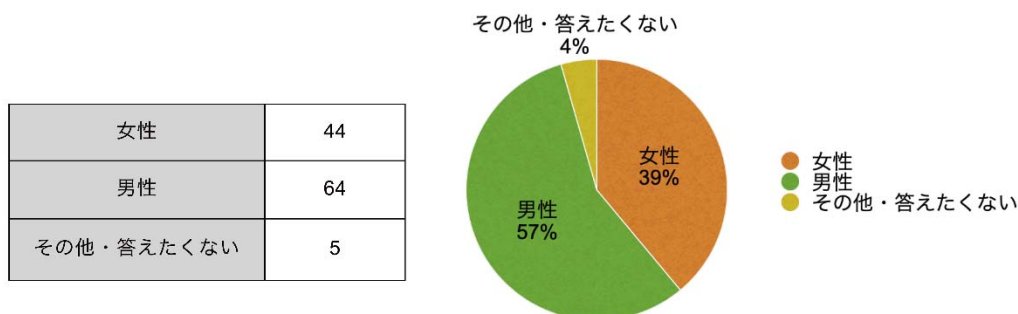
カンファレンスを通して、皆さまが各大学や個人で行われている取り組みや海外の現状などを知り、大変勉強になりました。パネルディスカッションにて話題にあがったことですが、同じ言葉や行動に対しても、それを受けとる人の属性や置かれた環境によって、感じ方はさまざまです。そのため、今回のカンファレンスのように、さまざまな属性の方と情報交換・意見交換をしてお互いの感じ方や考え方を知っていくことが、相互理解のためにとつても大切だと、改めて感じました。男女共同参画社会推進委員会として、来年以降の May 12 をどのように企画していくのか、今後の委員会にて検討してまいります。「男女共同参画」という名前ではありますが、性別による分け方だけではなく、年齢や立場、国籍など、さまざまな属性について考えていかなければならないと思います。数学をしたいと求めるすべての方にとって、過ごしやすく研究がしやすい環境づくりができるよう、今後も活動を続けてまいりたいと思いますので、引き続き、皆さまのお力添えをいただけたら幸いです。

最後になりましたが、ご講演や座長、パネリストをお引き受けいただいた皆さま、映画の日本語訳と上映にご協力いただきました Kavli IPMU の皆さまに、心よりお礼を申し上げます。そして、全体の取りまとめをいただきました清水扇丈先生をはじめ、

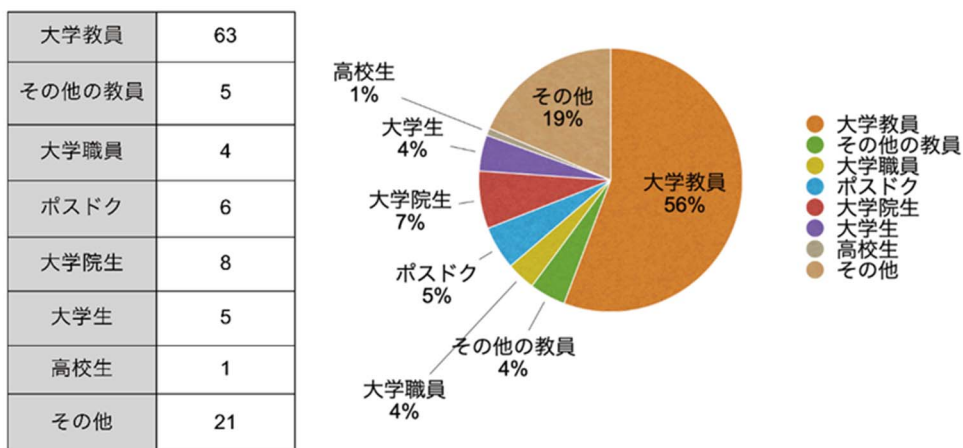
委員の今村悠里先生（金沢大学）、柏原賢二先生<sup>10</sup>、久野恵理香先生（大阪大学）、櫻井みぎ和先生（芝浦工業大学）、高津飛鳥先生、田中心先生（東京学芸大学）、鮑園園先生（東京大学）、坂内健一先生、横山俊一先生（東京都立大学）<sup>11</sup>、事務局の方々には、カンファレンスの準備や当日の運営にご協力いただき、大変お世話になりました。初めての May 12 をご一緒に運営させていただけたことに心より感謝申し上げます。

**【アンケート結果】** 回答者数：113名（参加登録者数：352名）

(1) 性別



(2) 属性

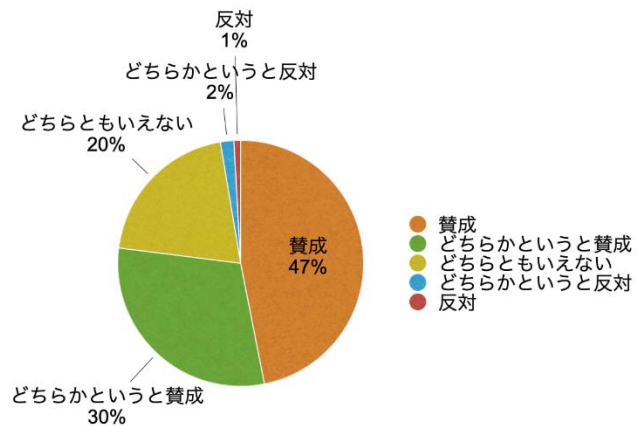


<sup>10</sup> 柏原賢二先生には、当日の Zoom ホストをお引き受けいただき、アンケートの作成も担当していただきました。

<sup>11</sup> 横山俊一先生には、委員会のウェブ担当として May 12 の素敵なウェブサイトを作ってくださいました。委員会による May 12 のウェブサイト。 <https://sites.google.com/view/wim2021/>

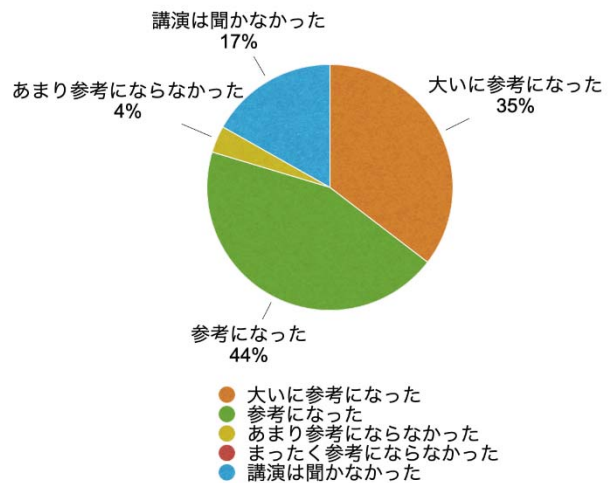
### (3) ポジティブアクションについて

賛成	53
どちらかという賛成	34
どちらともいえない	23
どちらかという反対	2
反対	1



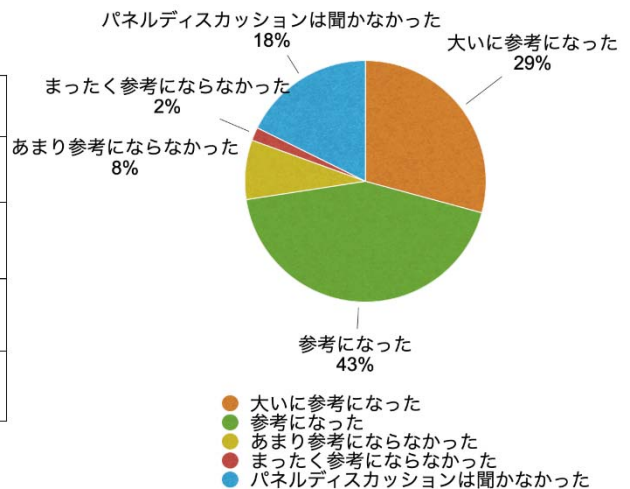
### (4) 講演について

大いに参考になった	40
参考になった	50
あまり参考にならなかった	4
まったく参考にならなかった	0
講演は聞かなかった	19



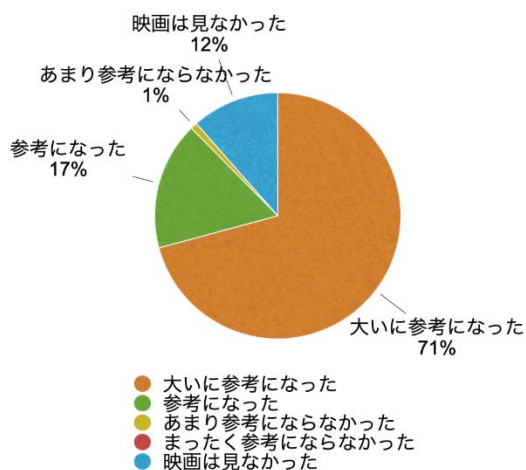
### (5) パネルディスカッションについて

大いに参考になった	33
参考になった	49
あまり参考にならなかった	9
まったく参考にならなかった	2
パネルディスカッションは聞かなかった	20



(6) 映画「Secrets of the Surface」について

大いに参考になった	80
参考になった	19
あまり参考にならなかった	1
まったく参考にならなかった	0
映画は見なかった	13



(7) 自由記述欄

自由記述欄には、参加者の皆さまから 51 件のご回答をいただきました。回答者の方に公開可否のご意向を伺っていないため、残念ながら公開はできませんが、さまざまなご意見やご感想、また、ご提案をいただき、大変参考になりました。いただいたコメントを今後の委員会運営に活かして活動を続けてまいります。

【プログラム詳細】（役職名は当時）

日時：2021年5月15日（土）13:00-18:20

13:00-13:05 開会の辞

寺杣友秀（日本数学会理事長）

13:05-13:45 [Lecture 1] How do we know the irrationality?

平田典子（日本大学理工学部）

座長：石井志保子（東京大学）

13:50-14:30 [Lecture 2] 幾何解析における Uhlenbeck の研究について

中島啓（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構）

座長：小野薫（京都大学）

14:40-15:20 [Lecture 3] 離散幾何解析とその材料科学への応用

小谷元子（東北大学／理化学研究所）

座長：楯辰哉（東北大学）

15:25-16:05 [Lecture 4] 形を聴く

高津飛鳥（東京都立大学大学院理学研究科）

座長：山田澄生（学習院大学）



16:10-17:10 パネルディスカッション「男女共同参画社会へ向けて」

パネリスト：石井志保子（東京大学），伊藤由佳理（東京大学），柏原賢二（東京大学），  
杉山由恵（大阪大学），田口雄一郎（東京工業大学），山田澄生（学習院大学）

コーディネータ：清水扇丈（京都大学）

17:15-18:15 『Secrets of the Surface』上映

18:15-18:20 閉会の辞

大山口菜都美（日本数学会男女共同参画社会推進委員長）

▷日本数学会男女共同参画社会推進委員会のウェブサイト

[https://www.mathsoc.jp/overview/committee/gender\\_equality/](https://www.mathsoc.jp/overview/committee/gender_equality/)

▷日本数学会男女共同参画社会推進委員会による  
May 12 のウェブサイト

<https://sites.google.com/view/wim2021/>

*May 12*  
**Celebration of  
Women in Mathematics**

2021年5月15日(土) オンライン開催 (Zoom)  
May 15 (Sat), 2021 Online conference (Zoom)

プログラム Program

本イベントは感染のうちに終了いたしました。  
ご参加いただきました皆様にお礼申し上げます。  
下記リンクより開催報告（PDF形式）をご覧ください。

May 12 Conference 開催報告

【主催 Sponsorship】  
日本数学会  
The Mathematical Society of Japan

【共催 Co-sponsorship】  
東京大学国際高等研究所 ユーリイ 数物連携学術研究機構  
Kavli Institute for the Physics and Mathematics of the University (Kavli IPMU), The University of Tokyo

The Mathematical Society of Japan

KAVLI IPMU INSTITUTE FOR THE PHYSICS AND MATHEMATICS OF THE UNIVERSITY